

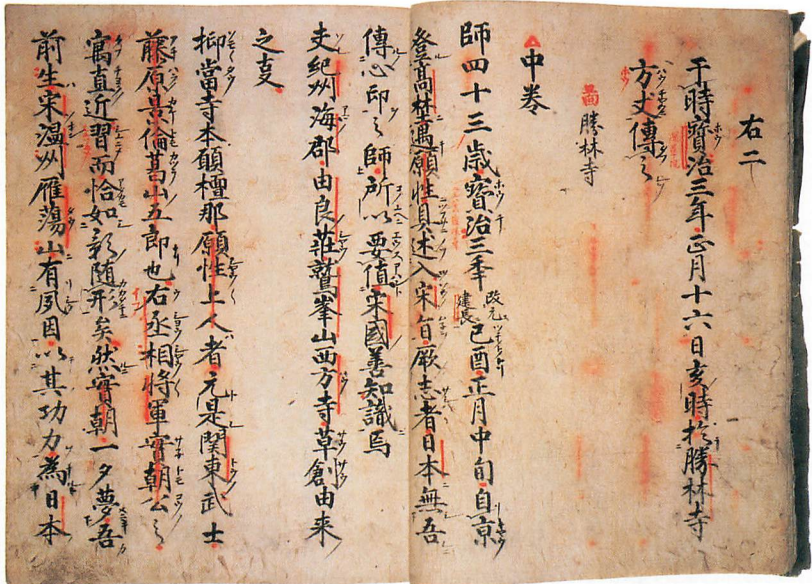
裾野市史

第二卷

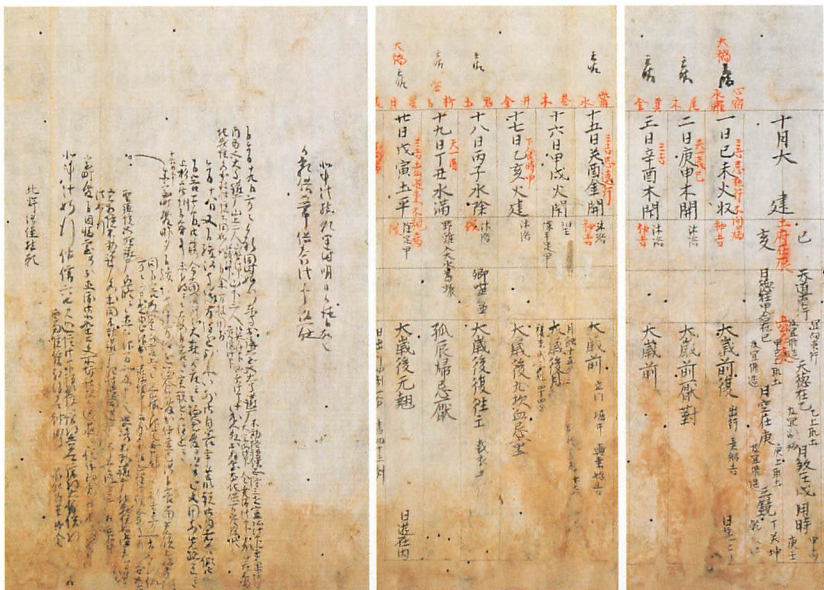
資料編

古代・中世

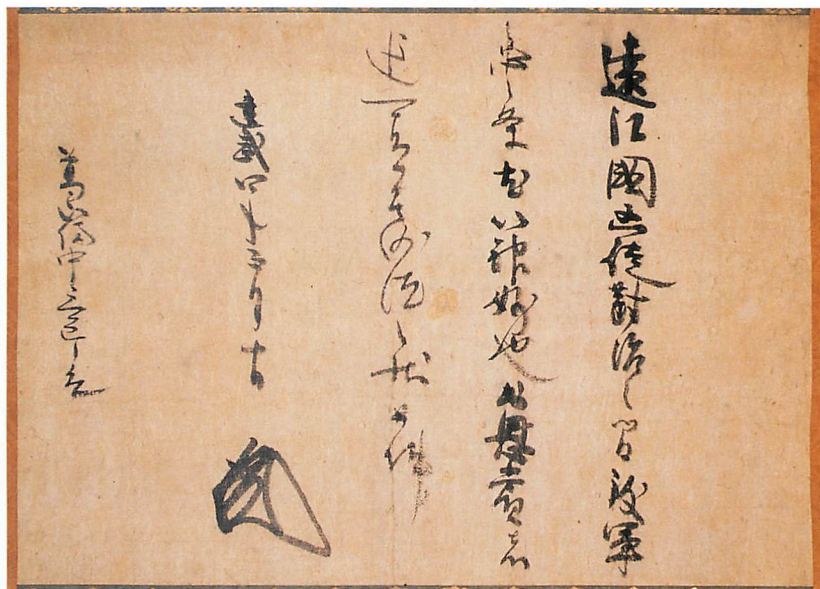
題字市川武



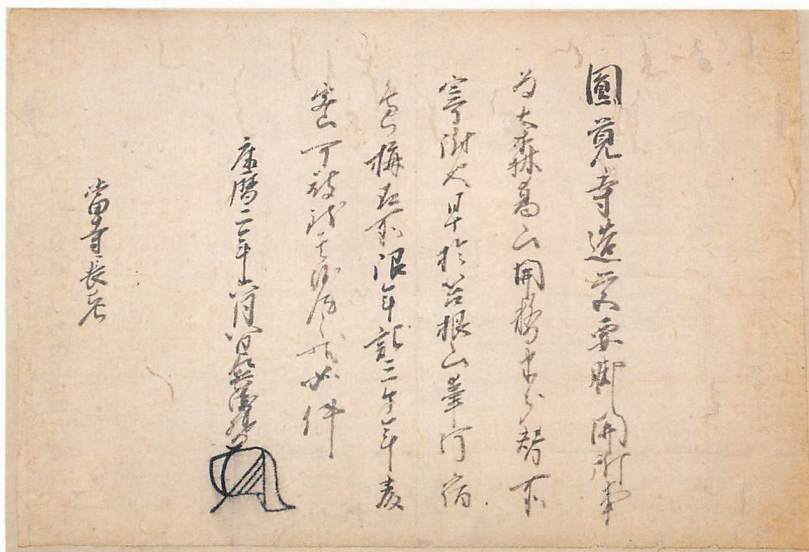
1 紀州由良鷲峰山法燈円明国師之縁起 中卷 和歌山県興国寺所蔵 133号



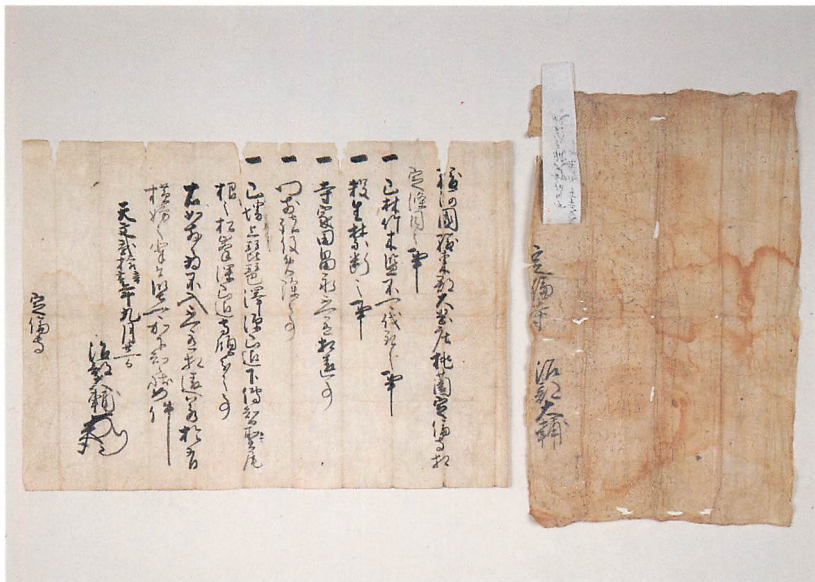
2 満濟准后日記(自筆本・重文) 応永23年10月18日条 国立国会図書館所蔵 295号



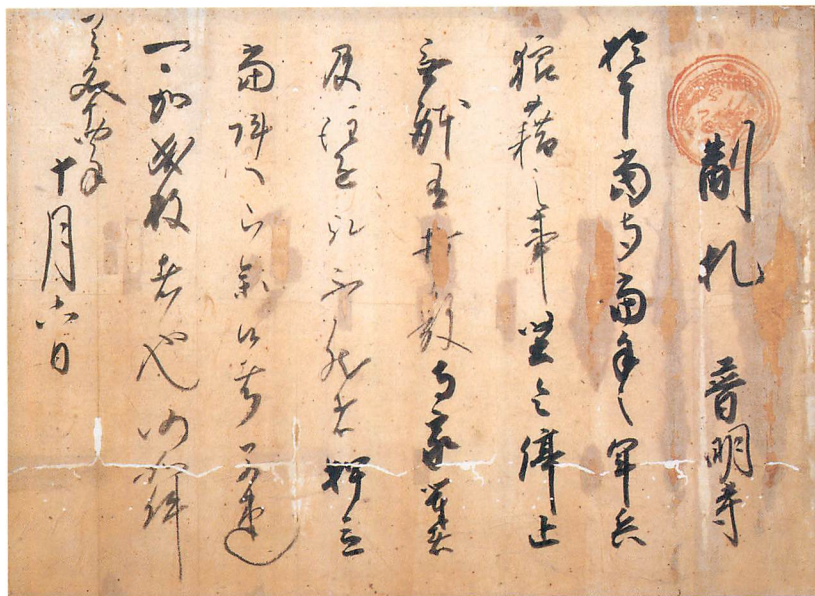
3 足利直義感状 建武4年正月10日付 大阪青山短期大学所蔵 229号



4 鎌倉公方足利氏満御判御教書 康暦2年6月8日付 神奈川県円覚寺所蔵 256号



5 今川義元判物 天文20年9月21日付 定輪寺所蔵 504号



6 武田家制札 天文14年10月6日付 普明寺所蔵 469号

佐野郷地割付

田 上三丁一 六月八日
 中三丁一 七月六日
 下三丁一 七月廿六日
 田打合九丁一 七月廿六日
 高上三丁一 八月九日
 中三丁一 八月廿九日
 下大世合 八月廿九日
 高打合九及小世合 八月廿九日
 田打合九及小世合 八月廿九日
 廿九日 廿九日
 廿九日 廿九日
 廿九日 廿九日
 廿九日 廿九日

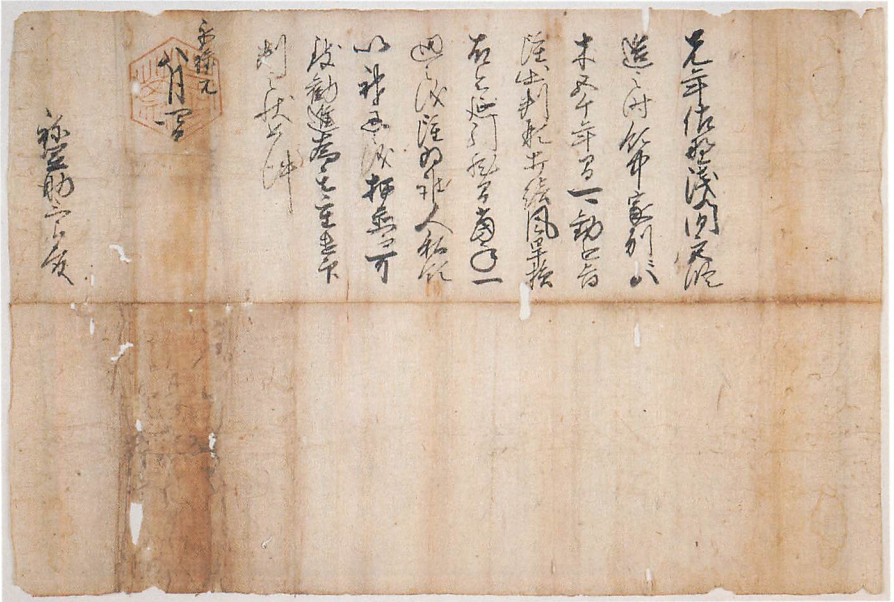
天文二十一年 十一月十五日
 官口 柏木正男

7 佐野郷檢地割付状 天文21年11月15日付 柏木正男氏所藏 518号

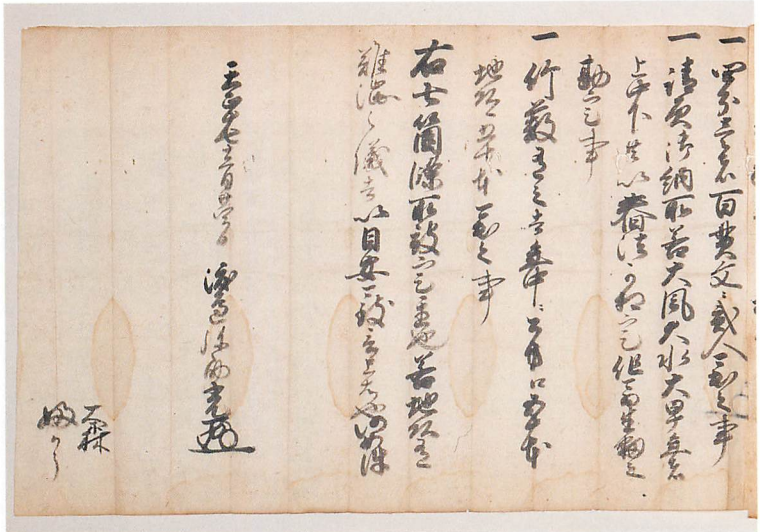
一 沙牟英納重 諸細使照境
 上三丁一 中三丁一 下三丁一 田打合九及小世合
 高打合九及小世合 田打合九及小世合
 一 陣 史重 史重 史重 史重
 種志 種志 種志 種志
 馬大豆 馬大豆 馬大豆 馬大豆
 史重 史重 史重 史重
 及 及 及 及
 一 百 姓 分 分 分 分
 中 田 打 合 下 中
 一 地 頭 百 姓 分 分 分 分
 史 重 史 重 史 重 史 重

大庭重一

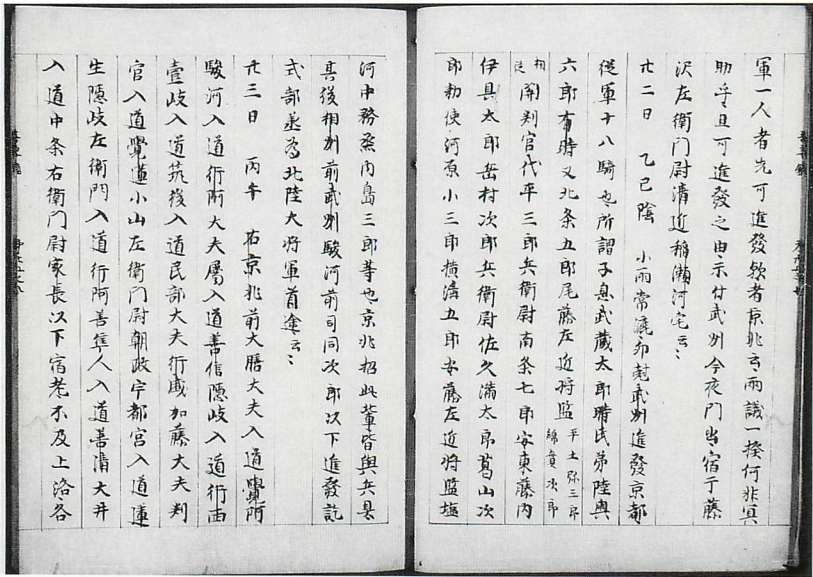
大庭重一氏所藏 944号



8 葛山氏元朱印状 永禄元年8月4日付 柏木正男氏所蔵 551号

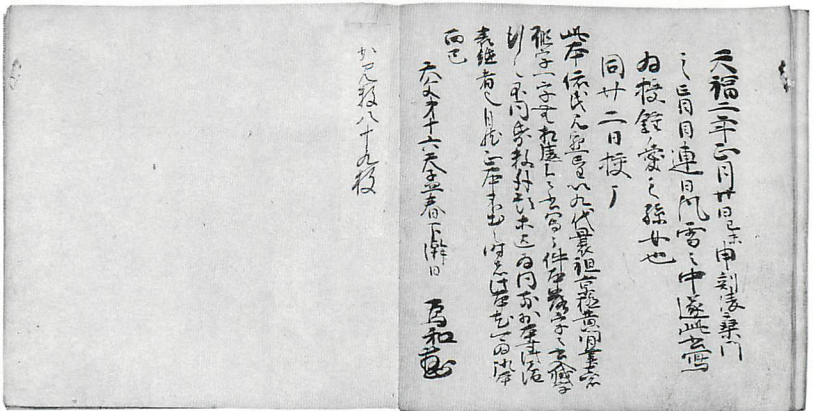


9 徳川家康七箇条定書 天正17年12月24日付

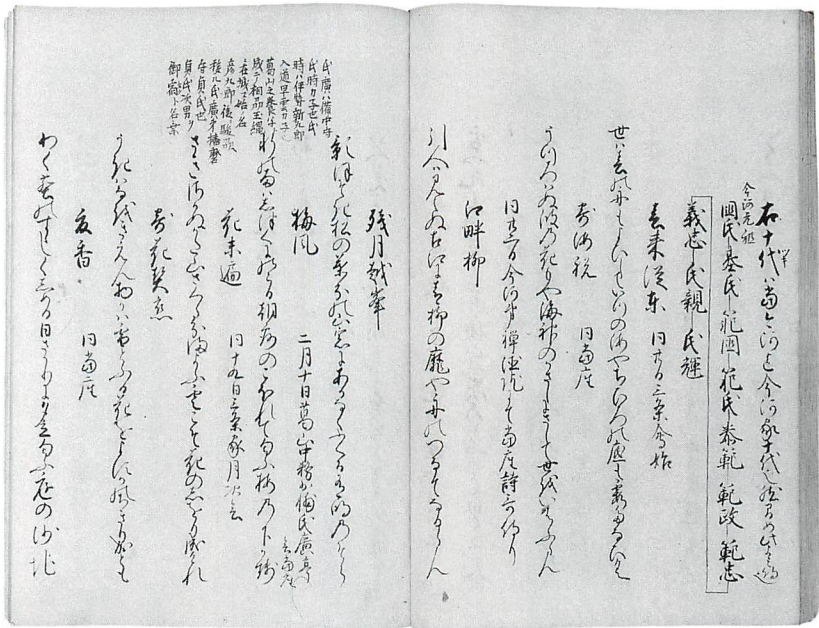


10 吾妻鏡(北条本・重文) 承久3年5月22日条

国立公文書館内閣文庫所蔵 122号



11 伊勢物語奥書 天文16年孟春下澣日付 宮内庁書陵部所蔵 481号



12 為和集 四 天文2年2月10日歌会条 宫内庁書陵部所蔵 427号



13 宝篋印塔 康応元年10月10日付 仙年寺所在 266号

14 平城宮跡木簡 奈良国立文化財研究所蔵 別編6号



15 平城京跡木簡 奈良国立文化財研究所蔵 別編19号



(奈良国立文化財研究所許可済)

発刊のことば

裾野市長 大橋 俊 二



裾野市史編さん事業発足以来、関係各位の多大なご尽力により、すでに刊行されている「資料編 深良用水」「資料編 考古」「資料編 近現代Ⅰ」に引き続いて、第四巻目となる「第二巻 資料編 古代・中世」を発刊するはこびとなりました。まことに喜ばしいこととあります。

さて、本巻は古代から戦国末期までの裾野市及び駿東地域に係わる文書・記録等を編年体で収録いたしております。この中には葛山氏関係の未紹介史料等、今回の調査による新しい史料も数多く収められており、裾野市の古代・中世に関する歴史の集大成をなしているのではないかと思っております。

本巻も含め、市史が市民や研究者等、多くの方々に幅広く活用され、郷土に対する理解が深まり、更には郷土を愛する気持ちにつながっていくことができれば、これ以上の喜びはありません。裾野市としては、編さん計画にもとづき、全十巻を順次刊行していく予定であります。今後とも市史編さん事業に對し、より一層のご協力、ご支援をお願いするものであります。

終わりにあたり、貴重な資料を快く提供していただいた所蔵者の皆様や、多忙な中、資料調査・編集にご尽力いただきました委員をはじめ関係者の方々に、厚くお礼申し上げます。

「古代・中世」刊行にあたって

裾野市史編さん専門委員 有光 友學

『裾野市史』資料編として、第六卷「深良用水」・第一卷「考古」・第四卷「近現代Ⅰ」に続いて、ここに第二卷「古代・中世」を刊行します。

「古代・中世」は、有史以来、天正十八年（一五九〇）七月末までの、駿河国駿東郡に関係する文字史料を編年順に収めたものです。

これは、現在の裾野市が、駿東郡の中央に位置し、古代・中世にあっては、国郡制のもとで形成された一つの社会・文化圏に含まれ、その重要な構成地域であったことを考えての編集方針であります。

私達は、それがため、裾野市内はもとより駿東郡内に伝存する史料を、ほぼ悉皆的に調査・収集し、隣接する周辺地域へも努めて現地調査を行いました。また、関係史料を所蔵する全国各地の個人や機関に対しても情報や写真の提供を受け、さらに、既刊の史料集にもあたり、原本にあたれない欠を補いました。その結果、当初の予測を超える点数の史料を採録することができ、なかには初めて紹介される新

出史料も数多く含まれています。本書が、この地域における古代・中世の史料集として、新しい到達点を示したのではないかと確信しております。ここに、快く調査をさせていただき、また、史料の提供や掲載許可をいただきました所蔵者や関係機関に改めてお礼申し上げます。

次に、私達は、史料の収載にあたって、正確を期すことはいうまでもなく、市民に親しみやすいものとする事に心がけました。そのため、史料本文の翻刻には、可能なかぎり原本に忠実であることを旨としました。また、史料一点毎に要約文(要文)をつけ、註記を付したこと、裾野市に直接関係する史料や難読史料に読下し文を付けたこと、あるいはまた、多くの写真を掲載したことなどはその表れであります。とくに、註記の執筆・編集には、担当委員が全力を傾注したところであります。そこに、誤りや不統一の面があるとするならば、私達の非力のなせるところで、ご寛恕いただきたいと思えます。

本書が、地域の歴史に学び、地域に根ざした歴史の創造をめざす多くの方々に、ながく繙かれることを心より願っています。

最後に、思いの外編集に手間取り、刊行が遅延したにもかかわらず、気ながにその完成をお待ちいただいた市民の皆様や、行政当局のご寛容に厚く感謝申し上げます。

凡 例

- 一 本書は、『裾野市史』「第二巻資料編古代・中世」として、駿河国駿東郡に関係する文字史料を収めた。採録の下限は、天正十八年（一五九〇）七月末とした。
- 一 史料一点ごとに、史料番号・史料名（文書名）をつけ、駿東郡域にかかわる内容の要約文（要文）を立てた。また、適宜読下し文・註記・写真を付したが、これらの基準と表記については、解説に詳述したので参照されたい。
- 一 史料の所蔵者または文書群名・出典と、所在地・所蔵機関は、史料名の下に双行で示した。史料名と出典が同一の場合は、その表記を省略した。また、東京大学史料編纂所架蔵の影写本・謄写本・写真帳や、既刊の活字本による場合は、所在地・所蔵機関の表記は省略した。巻末に出典一覧を付したので、底本はそれらによられたい。
- 一 史料は編年順に配列した。
- 一 年次の明らかでない史料は、関連の深い史料に便宜合叙した。
- 一 出土文字史料（木簡、墨書土器・刻書）は別編に、系図は別冊付録に一括収載した。
- 一 字体は、原則として常用漢字を用い、俗字・略字・異体字は現行の字体に改めた。仮名文字は現行のものとした。
- 一 史料は、原則として駿東郡域に関係する部分を抄録した。この場合、必要に応じて（中略）を用い、例外的に（後略）も使用した。

例 一 史料には、適宜読点（、）・並列点（・）をつけた。中世編においては、原文にある返り点や振り仮名・濁点などは、

原則として削除した。

凡

一 採録にあたっては、次のような表記を用いた。

(1) 虫損・欠損によって文字が判読不能の場合は、字数を推定して□□で示し、字数不明の場合は□ □や、□
で示した。

(2) 文書の前欠は——で、後欠は——で示した。

(3) 文字が抹消されている場合は、左傍に々々をつけ、訂正された文字を右傍に記した。抹消された文字が塗抹に
より判読不能の場合は、■で示した。

(4) 朱書は『』、挿入符は。で示した。

一 本文以外の部分、あるいは異筆の部分には「」をつけ、（端裏書）、（異筆）、（付箋）などと注記した。

一 古文書の料紙の形状は、折紙・切紙などについて明確な場合には、文書名の下に（折紙）、（切紙）などと注記した。
もと折紙と判明する場合も、（折紙）とした。

一 懸紙は文書本文の前に「」をつけて示し、（懸紙ウハ書）などと注記した。また、封は（切封墨引）などと注記し
た。

一 花押は（花押）と記し、印章はおよその形状を示して、朱墨の別と、印文が明らかな場合はこれを注記した。

一 史料にかかわる留意すべき点は、本文と区別するために文頭に○をつけて小活字で注記した。

別編

出土文字史料…………… 八六九

解説…………… 八六五

あとがき…………… 九五二

史料提供者…………… 九五三

裾野市史編さん関係者…………… 九五七

出典一覧…………… 九六八

別冊付録

中世系図集

口絵写真 堤 勝雄

古代・中世 総目次

口 絵

発刊のことば

「古代・中世」刊行にあたって

凡 例

史料目次

古代編

中世編

鎌倉時代

南北朝・室町時代

戦国時代

裾野市長 大橋 俊二

裾野市史編さん専門委員 有光 友學

一 三 五 九 一九 三三 三五

史料目次

古代編

有史以来

治承四年(一一八〇)七月まで

ページ

伝承	三	延暦十年(七九一)	三
安閑天皇二年(五三五)	三	延暦十九年(八〇〇)	三
靈龜二年(七一六)	四	延暦二十一年(八〇二)	三
養老三年(七一九)	四	天長八年(八三一)	三
天平七年(七三五)	四	承和年間(八三四～八四七)	三
天平九年(七三七)	五	承和七年(八四〇)	三
天平年間(七二九～七四九)	五	仁寿三年(八五三)	四
天平勝宝七年(七五五)	五	貞觀二年(八六〇)	五
天平宝字元年(七五七)	五	貞觀六年(八六四)	五
天平宝字二年(七五八)	六	貞觀十七年(八七五)	七
天平宝字四年(七六〇)	六		
		天平宝字年間(七五七～七六五)	六
		天応元年(七八一)	六
		延暦九年(七九〇)	六
		延暦十九年(八〇〇)	三
		延暦二十一年(八〇二)	三
		天長八年(八三一)	三
		承和年間(八三四～八四七)	三
		承和七年(八四〇)	三
		仁寿三年(八五三)	四
		貞觀二年(八六〇)	五
		貞觀六年(八六四)	五
		貞觀十七年(八七五)	七

元慶二年(八七八)……………	完
寛平六年(八九四)……………	完
延喜年間(九〇一〜九二三)……………	四
延喜十四年(九一四)……………	四
延長五年(九二七)……………	四
承平年間(九三一〜九三七)……………	四
天曆十年(九五六)……………	四
天元二年(九七九)……………	四
長保元年(九九九)……………	五
長保三年(一〇〇一)……………	五
長元六年(一〇三三)……………	五
長久元年(一〇四〇)……………	五
康平三年(一〇六〇)……………	五
永保三年(一〇八三)……………	五
承德二年(一〇九八)……………	五
天永三年(一一一二)……………	五
永久年間(一一一五〜一一一八)……………	五

久安五年(一一四九)……………	五
治承三年(一一七九)……………	五

中世編

治承四年(一一八〇)八月から

天正十八年(一五九〇)七月末まで

鎌倉時代

治承四年(一一八〇)……………	五
元暦元年(一一八四)……………	五
文治元年(一一八五)……………	六
文治二年(一一八六)……………	六
文治四年(一一八八)……………	六
建久元年(一一九〇)……………	六
建久三年(一一九二)……………	六
建久四年(一一九三)……………	六
建久六年(一一九五)……………	一〇四
正治二年(一二〇〇)……………	一〇四

史料目次

建仁三年(一一〇三)……………	二〇八	寛元四年(一一四六)……………	一〇九
元久二年(一一〇五)……………	二〇八	宝治二年(一二四八)……………	一〇九
承元二年(一一〇八)……………	二〇〇	建長四年(一二五二)……………	一〇五
建保三年(一一一五)……………	二〇〇	建長五年(一二五三)……………	一〇五
建保四年(一一二六)……………	二〇二	建長六年(一二五四)……………	一〇五
承久元年(一一一九)……………	二〇四	正嘉二年(一二五八)……………	一〇五
承久三年(一一二一)……………	二〇七	文応元年(一二六〇)……………	一〇四
貞応二年(一一二三)……………	二〇四	弘長二年(一二六二)……………	一〇五
嘉禄元年(一一二五)……………	二〇六	文永元年(一二六四)……………	一〇五
安貞元年(一一二七)……………	二〇九	文永三年(一二六六)……………	一〇五
安貞二年(一一二八)……………	二〇九	文永九年(一二七二)……………	一〇五
嘉禎二年(一一三六)……………	二〇五	文永十一年(一二七四)……………	一〇六
嘉禎三年(一一三七)……………	二〇四	建治二年(一二七六)……………	一〇三
暦仁元年(一一三八)……………	二〇二	弘安三年(一二八〇)……………	一〇一
仁治二年(一一四一)……………	二〇四	弘安五年(一二八二)……………	一〇七
仁治三年(一一四二)……………	二〇五	弘安六年(一二八三)……………	一〇六
寛元二年(一一四四)……………	二〇七	正応元年(一二八八)……………	一〇七

正応二年(一二八九)……………	一三
正応三年(一二九〇)……………	一三
嘉元三年(一三〇五)……………	一四
徳治二年(一三〇七)……………	一七
延慶三年(一三一〇)……………	一六
元応元年(一三一九)……………	一七
元亨三年(一三二三)……………	一八
正中二年(一三二五)……………	一八
嘉暦二年(一三二七)……………	一六
元徳元年(一三二九)……………	一七
元弘元年(一三三一)……………	一八
正慶二年(一三三三)……………	一〇
鎌倉時代……………	一九
南北朝・室町時代	
元弘三年(一三三三)……………	一五
建武元年(一三三四)……………	一九

建武二年(一三三五)……………	二〇
延建元武元年(一三三六)……………	二三
延建元武二年(一三三七)……………	二三
延暦元応元年(一三三八)……………	三六
延暦元応二年(一三三九)……………	三七
興暦元応四年(一三四一)……………	三九
興康元永三年(一三四二)……………	三三
興貞元和六年(一三四五)……………	三三
正観平応六年(一三五一)……………	三四
正文平和七年(一三五二)……………	三六
正文平和九年(一三五四)……………	三八
正貞平治十七年(一三六二)……………	三九
正貞平治十九年(一三六四)……………	四二
文応中安二年(一三七三)……………	四三
天永授和元年(一三七五)……………	四四
天康授和三年(一三七七)……………	四七
天康授和六年(一三八〇)……………	五二

史料目次

弘永二年(一三八二)……………	三三	弘永二十年(一四一三)……………	三六一
元至元年(一三八四)……………	三五	弘永二十一年(一四一四)……………	三六二
元至二年(一三八五)……………	三五	弘永二十三年(一四一六)……………	三六三
元嘉四年(一三八七)……………	三六〇	弘永二十四年(一四一七)……………	三六五
元嘉五年(一三八八)……………	三六一	弘永二十六年(一四一九)……………	三六六
元康中六年(一三八九)……………	三六二	弘永二十八年(一四二一)……………	三六七
明德四年(一三九三)……………	三六四	弘永二十九年(一四二二)……………	三六八
应永二年(一三九五)……………	三六五	弘永三十一年(一四二四)……………	三六九
应永三年(一三九六)……………	三六七	弘永三十二年(一四二五)……………	三七〇
应永七年(一四〇〇)……………	三六八	正長元年(一四二八)……………	三七四
应永九年(一四〇二)……………	三七〇	永享二年(一四三〇)……………	三七六
应永十年(一四〇三)……………	三七三	永享三年(一四三一)……………	三七八
应永十一年(一四〇四)……………	三七四	永享五年(一四三三)……………	三八〇
应永十二年(一四〇五)……………	三七七	永享六年(一四三四)……………	三八〇
应永十三年(一四〇六)……………	三七八	永享七年(一四三五)……………	三八三
应永十六年(一四〇九)……………	三九	永享八年(一四三六)……………	三八六
应永十九年(一四一二)……………	四〇	永享十年(一四三八)……………	三八八

永享十二年(一四四〇)……………	三四	文明十二年(一四八〇)……………	三七
嘉吉元年(一四四一)……………	三六	文明十四年(一四八二)……………	三七
文安元年(一四四四)……………	三七	文明十七年(一四八五)……………	三九
宝徳元年(一四四九)……………	三七	文明十八年(一四八六)……………	三四
享徳元年(一四五二)……………	三九		
康正元年(一四五五)……………	三〇	戦国時代	
康正二年(一四五六)……………	三三	長享元年(一四八七)……………	六一
長祿二年(一四五八)……………	三三	長享二年(一四八八)……………	六一
寛正六年(一四六五)……………	三四	延徳二年(一四九〇)……………	六三
文正元年(一四六六)……………	三五	延徳三年(一四九一)……………	六四
応仁元年(一四六七)……………	三六	明応二年(一四九三)……………	六五
応仁二年(一四六八)……………	三九	明応三年(一四九四)……………	七一
文明二年(一四七〇)……………	三九	明応四年(一四九五)……………	七三
文明三年(一四七一)……………	四一	明応五年(一四九六)……………	七三
文明九年(一四七七)……………	四三	明応六年(一四九七)……………	七五
文明十年(一四七八)……………	四四	明応九年(一五〇〇)……………	七七
文明十一年(一四七九)……………	四五	文亀元年(一五〇一)……………	七八

史料目次

文龜二年(一五〇二)……………	三〇	大永六年(一五二六)……………	四〇九
文龜三年(一五〇三)……………	三〇五	大永七年(一五二七)……………	四一
永正元年(一五〇四)……………	三〇六	享祿元年(一五二八)……………	四二
永正四年(一五〇七)……………	三〇七	享祿二年(一五二九)……………	四三
永正六年(一五〇九)……………	三〇八	享祿三年(一五三〇)……………	四四
永正七年(一五一〇)……………	三〇九	享祿四年(一五三一)……………	四六
永正九年(一五一二)……………	三一〇	天文元年(一五三二)……………	四七
永正十年(一五一三)……………	三一〇	天文二年(一五三三)……………	四九
永正十一年(一五一四)……………	三一	天文三年(一五三四)……………	四〇
永正十二年(一五一五)……………	三一	天文四年(一五三五)……………	四六
永正十三年(一五一六)……………	三二	天文五年(一五三六)……………	四六
永正十四年(一五一七)……………	三二	天文六年(一五三七)……………	四三
永正十六年(一五一九)……………	三二五	天文七年(一五三八)……………	四三
大永二年(一五二二)……………	四〇〇	天文八年(一五三九)……………	四九
大永三年(一五二三)……………	四〇一	天文九年(一五四〇)……………	四四一
大永四年(一五二四)……………	四〇四	天文十一年(一五四二)……………	四四三
大永五年(一五二五)……………	四〇七	天文十二年(一五四三)……………	四四六

天文十三年(一五四四)……………	四〇〇	永禄四年(一五六一)……………	五四八
天文十四年(一五四五)……………	四〇〇	永禄五年(一五六二)……………	五四三
天文十五年(一五四六)……………	四〇五	永禄六年(一五六三)……………	五四一
天文十六年(一五四七)……………	四〇七	永禄七年(一五六四)……………	五四七
天文十七年(一五四八)……………	四一三	永禄八年(一五六五)……………	五四〇
天文十八年(一五四九)……………	四一四	永禄九年(一五六六)……………	五六一
天文十九年(一五五〇)……………	四一九	永禄十年(一五六七)……………	五九七
天文二十年(一五五一)……………	四二六	永禄十一年(一五六八)……………	五九七
天文二十一年(一五五二)……………	四九一	永禄十二年(一五六九)……………	六〇八
天文二十二年(一五五三)……………	五〇三	元龟元年(一五七〇)……………	六四五
天文二十三年(一五五四)……………	五二三	元龟二年(一五七一)……………	六六二
弘治元年(一五五五)……………	五四	元龟三年(一五七二)……………	六六七
弘治二年(一五五六)……………	五五	天正元年(一五七三)……………	七〇五
弘治三年(一五五七)……………	五八	天正二年(一五七四)……………	七二
永禄元年(一五五八)……………	五九	天正三年(一五七五)……………	七二
永禄二年(一五五九)……………	五〇	天正四年(一五七六)……………	七二
永禄三年(一五六〇)……………	五〇	天正五年(一五七七)……………	七三

史料目次

天正六年(一五七八)	七九
天正七年(一五七九)	七五
天正八年(一五八〇)	七三
天正九年(一五八一)	七二
天正十年(一五八二)	七〇
天正十一年(一五八三)	八四
天正十二年(一五八四)	八一
天正十三年(一五八五)	八五
天正十四年(一五八六)	八六
天正十五年(一五八七)	八九
天正十六年(一五八八)	八三
天正十七年(一五八九)	八四
天正十八年(一五九〇)	八四〇

